

## 編集後記

本誌は、2015年度（19号）以降、電子媒体のみによる発行となっている。図書館の収蔵能力を考えると、学術雑誌の刊行を電子化する流れを止めることはできない。このような環境の中で、収録内容が多くの人々からアクセス可能になるとともに、引用されること、ダウンロードされる件数も容易に把握することができるようになった。発信する情報の影響をかなりの程度、定量的に把握できるのである。それはまた、各著者が自身の情報発信の影響を確認できるとともに、広範囲の目にさらされることで、様々な評価の機会を提供することになるのである。

他方で、ネットを使って情報収集が容易となることが、逆に、地道な実態調査を通してえられた一次資料の重要性を高めることにつながっていることに留意すべきであろう。

本誌が客員研究所員の報告を提供するのは、「経験を蒸留した結果」である「理論」のみではなく、「蒸留」される前の、生き生きとした日常生活世界を明らかにすることに、狙いの一つがある。実務経験豊富な客員研究所員と研究者教員との協働によって、新たな知見を見出すことがRR問題への対応として考えている次第である。

本号刊行にあたり多大なご協力を賜った、教務課根岸様、勝美印刷株式会社北村様に改めて厚く御礼申し上げます。（2018年7月N.O）

---

経済研究所所報 第21号

2018年9月30日

編集者 「経済研究所所報」編集委員会

〒357-8555

埼玉県飯能市阿須698

電話 042-972-1110

発行者 駿河台大学経済研究所

〒357-8555

埼玉県飯能市阿須698

電話 042-972-1110

印刷者 勝美印刷(株)

〒113-0001

東京都文京区白山1-13-7

アクア白山ビル5F

電話 03-3812-5201

---